

おやじの会のルール

- 1、おやじの会で話し合ったことは他で話さないこと
- 2、親睦を深める会です明るく過ごしましょう

やどかりの里とは

やどかりの里は、精神障害のある人たちが地域の中で生き生きと暮らし、1人1人が尊重され大切にされる社会をめざした民間の公益法人（社団法人）です

1970（昭和45）年に活動を開始し、1973（昭和48）年5月に法人設立が認可されました。1987（昭和62）年に精神保健法が制定されるまでの間、精神障害がある人は、法的に障害者と見なされず、福祉的な活動は、公的にも認知されませんでした。そこで私たちは、活動の公共性と公益性を再確認し、誰もが運営していく仕組みとして社団法人を選択し、活動を続けてきたのです。

やどかりの里は、その時その時の状況やメンバーの希望、社会の動き、流れによって変化してきました。やどかりの里を利用しながら地域の中で生活しているメンバーの要請に応じて、地域の中で必要な資源を模索しながら様々な活動を生みだしてきました。現在は、約300人を超える障害のある人がやどかりの里を利用し、地域生活を送っています。地域に根ざした活動のためにさいたま市の障害者計画にも参画し、さいたま市から委託された障害者支援の仕事を積極的に行っています。また全国各地からの見学者も多く、保健・福祉・医療の大学等との提携も行っています。

2011年12月には公益社団法人へ移行認定されています。

おやじの会

人生経験豊かで話題の豊富な個性あふれる

男同志の話で座は大いに盛り上がります

～やどかりの里では関わる1人1人が主人公です～



公益社団法人やどかりの里

おやじの会（やどかりの里）活動紹介

定例会 毎月第4水曜日 午前11時30分～午後3時

場所 喫茶ルポーズ2階

さいたま市大宮区天沼町1丁目136-2

電話 048-657-0202

大宮駅東口⑥番乗り場「中川循環」乗車

天沼中央通り下車

⑦番乗り場「大谷県営住宅行き」乗車

堀の内1丁目下車

徒歩3分（スーパーバリュー前）

会費（年間3000円）

活動内容

各種情報、提案、近況報告等を定例会で共有し、やどかりの里の行事にも参加しております。

会員の声

- ・孤立感から自分と家族を解放してくれる。
- ・友人、親族にも話せないことを聴いてもらい、有益なアドバイスをしてくれる。
- ・自分の家族のためになる話が多く聞ける。
- ・入会前と比べて子供の対応に余裕ができた。
- ・自分をさらけ出せる。当事者同士なのでよく分かる。
- ・たくさんの情報や知識が得られ勉強になる。
- ・各業界で活躍した人が揃っているので相談しやすいし、解決に導いてくれる。
- ・心が和む。

みんな違ってみんないい社会環境を作るには、まだまだ困難な状況です。「こんな人生でいい訳ない、障害を持っていても普通に暮らせる社会を作ろう」の使命感を持って進んでいきたいと思います。

